



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第42号 2017.2.

日高のジオを伝えるための活動をいろいろ行なっています。

ジオの普及の招待講演で日高山脈博物館の活動報告など、日高のジオをオープンに…！

日高町日高地区はご存知の通り、北海道形成～日高山脈形成にかかる、特異で貴重な地質が分布しています。その地質や岩石の特異性・多様性から、特徴的な地質・地形やそれらと人とのかかわりを示す場所（ジオサイト）を多数有しています。その日高のジオを皆さんに知ってもらうことも、博物館の仕事のひとつと思っています。

昨年12月3日、北海道内に数あるジオサイトを107点厳選し、北海道のジオの啓蒙書「北海道自然探検ジオサイト107の旅」（石井正之ほか編著・日本地質学会監修・北海道大学出版会）の出版記念シンポジウムで、日高のジオの魅力発信と啓蒙・普及事業などを行なっている当館の活動についての講演を行ってきました。知られざる日高のジオサイトの紹介もそうですが、当館の普及事業について、日高のジオを活かして、石の見分け方などの基礎から、岩石薄片作成や巡検まで網羅し、小学生や高校生以上など、それぞれに対応した内容であることも話題となりました。普及事業の参加者が事業で内容を十分に習得し、活用できる「人」が育っていることなども評価を得られました。なお、この書籍の元となるウェブサイト「北海道地質百選」には、600以上の道内ジオサイトが掲載されていますので、そちらもご覧ください。

また、北海道博物館協会学芸職員部会に所属する、道内の学芸員有志が、部会のホームページ上で連載していたコラム記事をまとめた書籍「北の学芸員とっておきのお宝ばなし」でも、日高ジオのひとつ「日高ヒスイ」についての解説を行なっています。

日高ジオやジオ全体の魅力発信とその普及活動については、今後さまざまなところで発信できるように、また、当館事業に参加者の方が、日高ジオを楽しく学べるような活動を続けていくべく、来年度の活動内容を考えています。

上記の2つの書籍「北海道自然探検ジオサイト107の旅」・「北の学芸員とっておきのお宝ばなし」は、博物館でもご覧になることができますので、ご興味のある方は、学芸員までお申し出ください。



12月3日の招待講演のようす。「日高塩の魅力発信—日高山脈博物館の活動—」という演題でした。



「奔湍石を噛み飛沫霧散して万解の涼味を感じる」（日高村五拾年史より）、サンゴの滝も日高ジオサイトの1つ。

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。